

船舶事故調査報告書

令和元年5月22日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	火災
発生日時	平成30年8月5日 03時02分ごろ
発生場所	千葉県館山市洲崎南西方沖 野島埼灯台から真方位257° 11海里付近 (概位 北緯34° 51.6′ 東経139° 40.3′)
事故の概要	油タンカー ^{フロント ハカタ} FRONT HAKATAは、航行中、火災が発生した。
事故調査の経過	平成30年8月8日、主管調査官（横浜事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	油タンカー FRONT HAKATA（バハマ国籍）、159,383トン 9196644（IMO番号）、FRONTLINE MANAGEMENT AS ディーゼル機関、2サイクル、出力25,480kW、回転数毎分 79、7気筒、ボア800mm、使用燃料C重油、平成12年3月機 関製造
乗組員等に関する情報	船長（インド籍）、締約国資格受有者承認証 船長（バハマ国発給） 機関長（インド籍）、締約国資格受有者承認証 機関長（バハマ国発給） 二等機関士（インド籍）、締約国資格受有者承認証 二等機関士（バ ハマ国発給）
負傷者	なし
損傷	主機排気管、排気ガス煙道及び機関室の天井に焼損、主機過給機に破 損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南南東、風力 1、視界 良好 海象：波高 約1m
事故の経過	本船は、船長、機関長及び二等機関士ほか22人が乗り組み、航行 中、入港前の点検で主機を停止した後、後進テストを行おうとした が、後進に始動できず、主機の点検を行い、船首側から順に番号が付 された主機5番シリンダのピストンクラウン頂面の亀裂（以下「本件 亀裂」という。）からピストン冷却油が漏れいしているのを認め、予 備のピストンと交換した。 本船は、ピストンの交換作業後、主機の試運転を兼ねて航行を始め たところ、排気管、煙道内等に本件亀裂から出て付着していたピスト ン冷却油が高温の排気ガスに触れて出火し、炎が煙道等から出て、機 関室の天井の一部に延焼したものの自然消火した。
分析	本船は、ピストンの交換作業後、排気管、煙道内等に本件亀裂から 漏れいしたピストン冷却油が付着した状態で主機の運転を行ったこと から、排気管内で出火し、炎が排気管及び排気ガスの煙道を通して機

	関室の天井の一部に延焼したものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、本船が、ピストンの交換作業後、排気管、煙道内等に本件亀裂から漏えいしたピストン冷却油が付着した状態で主機の運転を行ったため、排気管内で出火し、排気管及び排気ガスの煙道を通して機関室の天井の一部に延焼したものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none">・ 主機の整備を行った場合は、各部を点検して不要な油分等を拭き取るなどの清掃を十分に行うこと。